

1 ものの生産者

- 1 ものの生産者の役割とはなんだろう？
- 2 ものの生産者にはどんな種類があるのだろう？
- 3 ものの生産者は今後どう変わっていくのだろう？



ニーズを満たすものをつくるのが大事なんだね。



1 ものの生産者の役割

ものの生産者の役割は、消費者や企業のニーズを満たす製品を製造し、商品として市場に提供することです。

生産者は、消費者ニーズの多様化に対応するために、市場調査を通じて集めた情報や、流通業者から提供を受けた情報を生産に反映させています。生産者は、消費者ニーズを把握して商品を生産することで、卸売業者や小売業者との取引が円滑になるため、販売を意識した生産をすることが重要になっています。

CASE

CASE 販売を意識した六次産業化

六次産業化とは、農業や水産業などの第一次産業（生産）が、第二次産業（加工）と第三次産業（販売）まで手がける取り組みです。生産者にとっては、農水産物をそのまま流通業者や消費者に売るよりも、加工や販売まで手がけたほうが収益は上がります。

農業法人W社では、ごぼうを半分に切って包装することで、3倍の価格で取引されたことができました。これは、消費者がごぼうを買って帰る際、1本まるごとでは袋からはみ出すので持ち運びにくいという不満を解消するものでした。生産するだけでなく、販売まで意識した加工です。

乳業メーカーN社は、牛乳で六次産業化の試みをしました。近年、牛乳の消費量は右肩下りの状況にあるため、ただ牛乳を生産して販売するだ

けでは売上は下がっていきます。そこで、N社は、牛乳を原料の一つにした生キャラメルを開発し、牧場や都心に店舗をかまえて販売するといった取り組みをしました。生キャラメルは全国的な人気を得て、N社製だけでなく多くの乳業メーカーが開発・販売するようになり、牛乳の消費の下支えをしています。



W社野菜カットセンター



W社カット野菜セット

2 ものの生産者の種類

ものの生産者は、自然からもたらされるものを収穫^{しゅうかく}する農業・林業・漁業^①と、鉱物^{こうぶつ}を採掘^{さいくつ}、採石する鉱業・鉱石業^②・砂利採取業^{じゃり}、原材料を加工して製品をつくり出す建設業および製造業に分けられます。本章では、おもに製造業についてみていきましょう。

製造業には、テレビやデジタルカメラなどを製造する情報通信機械器具製造業や、洋服やタオルなどを製造する繊維工業などが含まれます。おもな製造業は下表のとおりです。

3 ものの生産者のビジネス

ものの生産者のビジネスでは、顧客^{こきゃく}のニーズを満たす製品を製造することが最も重要です。近年では、製品の安全性^{はいいりょ}への配慮^{かんきょう}、環境問題への対応といったことが求められています。

消費者保護を目的とした法律として、製品の欠陥^{けっかん}が原因で人やものに損害を与えた場合、被害を受けた人に対する損害賠償責任を製造業者^③が負^おうことを定めた製造物責任法^{*1}があります。

① これらを第一次産業と
いいます。

② これらを第二次産業と
いいます。

Word

*1 製造物責任法

PL (Product Liability) 法ともいいます。たとえば自動車や家電製品などによる事故にはこの法律が適用^{しうづ}されます。1995年から施行されました。

③ 環境保護を目的とした法律には、以下のものがあります。(年は施行年)
1997年…容器包装リサイクル法
2001年…家電リサイクル法
2005年…自動車リサイクル法
2008年…改正容器包装リサイクル法

製造業の種類 ●日本標準産業分類による(中分類)

食料品製造業	印刷・同関連業	窯業・土石製品製造業	業務用機械器具製造業
飲料・たばこ・飼料製造業	化学工業	鉄鋼業	電子部品・デバイス・電子回路製造業
繊維工業	石油製品・石炭製品製造業	非鉄金属製造業	電気機械器具製造業
木材・木製品製造業 (家具を除く)	プラスチック製品製造業	金属製品製造業	情報通信機械器具製造業
家具・装備品製造業	ゴム製品製造業	はん用機械器具製造業	輸送用機械器具製造業
パルプ・紙・紙加工品製造業	なめし革・同製品・毛皮製造業	生産用機械器具製造業	その他の製造業

4 ものの生産者の動向

1 日本のものづくり

* 巻頭ページ⑤⑥を参照

日本には、いろいろな
すぐれた製品があるん
だね。



Word

*1 ブランド

ブランドは、ほかの商品との違いを明確にする名前（ネーミング）や図形、記号といったものの総称です。ブランドはただの印ではなく、長い時間を積み重ね、「このブランドであれば品質がしっかりしていて安心だ」といったように消費者から得た信頼の証として機能しなければなりません。

日本の製造業には世界に誇る技術があり、**ものづくり**はすぐれています。しかし、その反面、製品がもつ高い品質を消費者に伝え、商品として販売する力が弱いともいえます。わたしたちの身のまわりには、名前は知られていなくても素晴らしい技術で生産された商品が数多くあります。

ものの生産者は、近年「生産して販売する」必要性を感じ、実行に移しています。中小企業では海外へ自社製品を売り込んで、海外での販売を進めようとしています。また**ブランド**としての価値を高めて、日本に逆輸入しようという取り組みも行われています。

2 生産者のネットワーク化

中小企業が、大企業と同じように生産性の向上や低価格化などを行って新たな流通経路を開拓することは困難です。そこで、中小企業どうしがネットワークを組み、それぞれの強みを発揮して生産や販売で協力をし、大企業に負けないための取り組みをしています。

CASE ▶ p.63

CASE 繊維メーカー A 社の海外進出

* 巻頭ページ⑤を参照

日本の技術やものづくりが、国内よりも海外で高く評価されるということは少なくありません。そこで、中小企業では自社が製造する商品を海外にもっていき、海外での販売をめざしています。さらに海外でブランド価値を高めることで、日本での販売に結びつけようという意図もあります。

石川県にある繊維メーカーの A 社は、世界一軽く薄い衣料用織物を製造する技術をもっています。最も軽い製品は、1m² あたり 5g しかありません。海外の有名なファッションショーでも使用されていますが、日本国内ではあまり知られていません。そこで、A 社は海外のブティックに直接売り込み、ファンション雑誌などに取りあげても

らうことで海外での知名度を上げ、販売機会を増やしたりブランドの価値を向上させたりしようとしています。

このような取り組みを行う企業は、徐々に増えています。これらの企業の商品の価値が海外で認められ、日本に逆輸入されることも多くなるでしょう。



A 社が製造する世界一軽く薄い衣料品織物

3 食品の海外輸出

和食が無形文化遺産に登録されたように、海外で日本料理が親しまれるようになってい^①ます。一方で、日本国内の食文化^{いっぽう}の変化や海外から安く食品が輸入されていることもあり、食品の売上が減少する^{おそ}恐れもあります。そこで、日本の企業は、和食の海外での普及^{ふきゅう}に注目して、醤油や味噌、酢、ワサビといった調味料や食品などを海外に輸出しています。

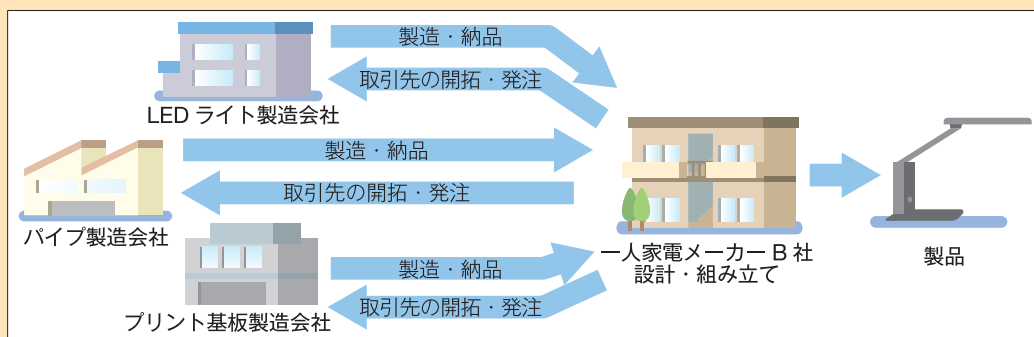
① フランス料理はバターを使った油分でおいしさを引き出しますが、和食は出汁^{だし}のうまみでおいしさをつくるという点が評価の一つになったといわれています。

CASE 生産者のネットワーク化

* 巻頭ページ⑥を参照

情報化が進んだことで、独自の技術や強みをもつ中小企業が、ネットワーク化し、分業する取り組みがみられます。たとえば、一人家電メーカーといわれるB社がありますが、決して一人で生産しているわけではありません。LEDデスクライトを製造する場合、B社は電子回路の設計図を書いて3Dプリンタで試作品をつくり、生産は電子回路を生産する工場に発注します。蛍光灯を製

造する場合、パイプの設計はしますが、生産はパイプ曲げの技術がすぐれた工場に発注します。このようにB社は、設計と組み立ては自社でやるものの、部品の生産に関しては技術がすぐれたほかの中小企業に発注します。情報化が進み、中小企業どうしがネットワーク化することで、たがいの強みを発揮して、大企業にも負けない製品をつくるようになってい



確認問題

ものの生産者

1——次の文章を完成させましょう。

- (1) ものの生産者の役割は、顧客の(①)を満たす製品を製造し、(②)として市場に提供することです。
- (2) 日本の製造業には世界に誇る技術もあり、(③)は優秀だといえます。しかしその反面、すぐれた技術を伝え、(④)する力が弱いともいえます。

調べ学習

- 世界に誇る技術を持っている日本の中小企業について調べてみよう。